

2018年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

| | | | |
|---|-------------------------|------|-----------|
| 所属 | 株式会社 Little Japan 代表取締役 | 助成金額 | 150,000 円 |
| 氏名 | 柚木 理雄 | | |
| 研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。） | | | |
| 地方の担い手不足の解決に向けた地方の企業・行政の求人と東京から地方に行きたい個人のマッチングのための調査 | | | |
| 助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。） | | | |
| <p><研究の背景></p> <p>日本全体としても人口が減っていく中、東京一極集中の流れは変わらず、地方では、急激な担い手不足が起こっています。一方で、地方の仕事については、尖った仕事等については日本仕事百貨等のブランディングされたメディア型の求人サイトで取り上げられておりますが、地方での起業等の尖った仕事は、極めてハードルが高く現実的に実現できる人は非常に限られ、多くの地方に行きたい方にとっての当たり前の仕事とは異なった限られた情報・偏った情報しかないのが現状です。一方で、地方に仕事がないというわけではなく、地方にある当たり前の仕事、農業、福祉、病院、サービス業（飲食、宿泊、小売等）については、存在するもののその情報が知られていないことから「仕事がない」と言われている面もあります。このような中、地方の仕事を掘り起こし、地方に行きたい方につなぐことを目的に本調査を実施することとしました。</p> <p><研究内容></p> <p>実体の調査を行うため、①自治体職員、地域おこし協力隊などの東京からの人材の受け入れている地域の方、②すでに東京から地域へ移住をした方、③地域への移住を検討されている方、に対し主にオンラインでインタビュー調査を行いました。調査を進めていく中で、③地域への移住を検討されている方、については、実際に移住後に就く仕事を考えた場合に、東京と同水準の所得を確保しようと考えると、仕事がほとんどないということがわかってきたため、これを踏まえて、「所得の低下を受け入れられる」という方に限ってさらに詳細に調査を進めていくこととしました。</p> <p>この「所得の低下を受け入れる」が前提としていく中で、「現地での生活コストが実際のどの程度かかるか」といった生の情報があればという声が多く、移住コーディネーター等よりも、現地に実際に移住をした方と直接つながり、良いところも悪いところも含めて、移住前に話を聞くことができるようなサービスを構築できないか、ということになった。これをコンセプトとし、アプリの画面遷移及び各画面のUIの設計までを本調査で進めた。</p> <p>ユーザー 画面遷移図イメージ</p> <p>①複雑 個人リクエスト →発信者ok確定 ②シンプル版 メッセージ形式</p> <p>■ ログイン不要の画面 → 誰でも見ることができる内容 ■ ログインが必要な画面</p> | | | |
| 助成金の使用金額及び使途 | | | |
| インタビュー調査及びイベント実施費:5万円 アプリ画面設計費:10万円 | | | |
| 助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。） | | | |
| 2018年11月8日 徳島県三好市とのイベント https://www.facebook.com/events/293633064696923/ | | | |
| 2018年12月5日 パーソルホールディングス株式会社にてプロジェクト成果発表 | | | |